

●クラッチの点検

〈レバーの遊び〉

抵抗を感じるまで、手でクラッチレバーを引き、レバー先端の遊びの量が規定の範囲内にあるかをスケールなどで点検します。

〈クラッチの作用〉

- ・アイドリング状態で、クラッチレバーをいっぱいに引いたとき異音がしないか、異常に重くないかを点検します。
- ・クラッチレバーを徐々に離して発進したとき滑りがなく、接続が滑らかであることを点検します。

